

須加院川ありがとう

連絡先事務局 〒679-2132 姫路市香寺町須加院470-1
メー ル blue_sky@gaia.eonet.ne.jp
ホームページ <http://www.eonet.ne.jp/~sukain/index.html>
<http://himeji.genki365.net/gnkh09/mypage/index.php?gid=G0000074>

電話とファクス 079-265-3631

須加院川の会
第 069号
発行日 H22. 4. 28
発行 上月時男
編集 上月勝好
印刷 小野高速

‘10/05～‘10/07 月の予定

	月 日	時 間	集合場所	中止・決行は集合時刻に集合場所で発表
174	5 月 16 日(日)	AM8:00～ ～11:30	・香呂南小前 ・横枕花壇付近	・花壇手入れと周辺の草刈およびゴミ拾い ・横枕井堰～ラバー堰付近の草刈と周辺のゴミ拾い
175	6 月 5 日(土)	PM18:00～ ～21:00	・須加院公会堂 (子供会と協働)	・18:00～19:30 ホタルの勉強と鑑賞について ・19:45～20:30 ホタル鑑賞会(森の元井堰～営農倉庫)
176	6 月 6 日(日)	AM8:00～ ～11:30	・香呂南小前 ・元IA支店前	・花壇手入れと周辺の草刈およびゴミ拾い ・市川合流域～さくら並木付近の草刈と周辺のゴミ拾い
177	6 月 20 日(日)	AM8:00～ ～11:30	・香呂南小前 ・毘沙門下付近	・花壇手入れと周辺の草刈およびゴミ拾い ・毘沙門下付近～円堂谷口の草刈と周辺のゴミ拾い
178	7 月 4 日(日)	AM8:00～ ～10:30 ----- 10:45～11:30	・香呂南小前 ・営農倉庫よこ ・営農倉庫よこ	・花壇手入れと周辺の草刈およびゴミ拾い ・営農倉庫付近～森の元井堰の草刈と周辺のゴミ拾い ・ホタル幼虫の放流会 (子供会と協働)

エコキャップ集め、ありがとう

ペットボトルや空き缶をはじめ数々のポイ捨てゴミに多くの人々が迷惑している。毎月拾うゴミは減る傾向に無く、特に道路近くを耕す農家はポイ捨てゴミや**犬のウンコ**に本当に迷惑し困っている。ポイ捨てゴミは自動車からだけではなく、地元の人が管理不充分で風に飛んだと思えるゴミ、時には私達の活動を見越した投棄では、と思わせるようなゴミもある。

都会では水害の元にもなるポイ捨て、そんなポイ

エコキャップ
受領書

2010年4月14日
須加院川の会 事務局
上野勝好 集
ご住所：兵庫県姫路市香寺町須加院470-1
Email: blue_sky@gaia.eonet.ne.jp
FAX番号: 079-265-3631
今回受領個数: 14,800 個
累計個数: 46,400 個
ワクチン: 58.0人分
ご協力ありがとうございます。皆様のご厚意を大切に致します。

分類名: その他団体
NPO法人(内閣府認定) エコキャップ推進協会
神奈川県横浜市中区羽衣町3-63
羽衣ビル2F
TEL: 045-250-0294
FAX: 045-250-0295
<http://ecocap007.com/>
累計のCO2: 385 Kg
※累計のエコキャップをばらして焼却すれば、これだけの量のCO2が発生することになります

受 取 日	数 量	個 数(約)	備 考
2010/04/08	37 Kg	14,800 個	
合 計		14,800 個	

捨てを減らす方策の一つがエコキャップ⇒ワクチン運動(キャップ 800 個で一人分のワクチン代 20 円)と言えるかも。しかし私達の住む兵庫県～中四国にかけた地域ではこの仕組に賛同する廃プラ・リサイクル業者が少くてついでの持込も叶わず、送品しなければ後進国の子供達の命を救うワクチン代金に代らない。

因みに今回は 14,800 個ワクチン 18.5 人 (370 円) 分を送り、送品に 2,310 円の運賃・ワクチン代 115.5 人分に当る費用を掛けました。寄付金の方が得策ではと一瞬思わせますが、ペットボトルや空き缶のポイ捨ては減りません。ボトルキャップを分け集め持寄られる方々の心が、キャップの数だけペットボトルのポイ捨てを防止しゴミの減量化に貢献したと言えます。空き缶のプルトップも同様です。同じように見え自社の宣伝に利用しているように誤解させるケースが民間の一部企業にある。販売者が責任としてデポジット(空き容器の引取代金を込めた売価)などに努めてなら解りますが何かシックリ来ないのを感じます。ところで**川の会の送品実績は累計で 46,400 個ワクチン 58 名分**、エコキャップのホームページ(下記)から確認できますし、川の会はそんな方々の善意を届けることに意義を憶え努めています。

<http://ecocap007.com/index.html>



井戸知事から感謝状

3月25日県庁の南、県警本部東隣の兵庫県公館にて安全・安心な社会づくりに貢献した団体に感謝状の贈呈、なぜか川の会へもとの事で4名が参列し頂いた。

贈呈に先立つ挨拶や防災減災活動の説明、117 阪神淡路大震災を忘れないと言う一方、「**生きてる間にあんな大地震はもう来んやろう**」と県民の危機感は薄らぎ、自主減災防災活動のマンネリ化が進む現状への警告と見直しを強調された。特に近年千種川や円山川など県中西部～北部での洪水や土砂崩れ、川や溝が地下を流れる都会では様々のポイ捨てゴミが排水溝や管などを塞ぎ地上へ溢れ出す大災害と、毎年各地で発生する**水による災害**の現実は見過ごせない。今後は川や溝等の清掃活動などを減災や防災面でも重要視すべき活動と力説された(ように、須加院川の会には聞こえた)。そして感謝状は

- ① 被災者や被災地を支援する活動
- ② 災害の経験や教訓を伝える活動
- ③ 災害に備える活動

の三つの活動分野の団体や個人に授与され、川の会は**③災害に備える活動**の分野で、鉄人 28 号とか激励歌や鎮魂歌を歌う団体など様々の団体と共に戴いた。ちなみに県内には環境に取り組む団体・個人はイッパイありますが感謝状を贈られたのは須加院川の会だけでした。

マル8年、毎月欠かさず170回に及ぶゴミ拾いと川の草刈などが環境保全に寄与しただけでなく、河床の自然浚渫と流水の円滑化を促し防災に寄与、また毎月のゴミ拾いは今後大都市住民が取り組むべき防災減災活動の新たな視点と視野を示唆した活動として評価された、と川の会にとり都合のよいように聞きました。

去年は**花と緑あふれる美しい県土づくりの推進**に今年は**安全・安心な社会づくりの貢献**に感謝状と、県や姫路市から認められる会となった。会員の貴重な汗の結晶の賜物、今後はあなたにも川の会に加わって頂き、おごる事なく社会の為に精進して行きたい。

ホタル鑑賞のタベ開催

ホタルの飛ぶ季節が来ました。6月5日、左記の日程で開催します。7月上旬には去年に続き今年もホタルの幼虫を放流する予定です。一回や二回の放流では結果は出ない、来年・さ来年も続け、須加院川のどこからでもホタルが飛び出すように続けたいと思っています。

このホタル、数十年前までは須加院川のどこでも舞っていましたが農薬の使用によるのか**絶滅(香寺町発行・ムラの生活史)**してしまいました。日本中どこも同じ状況、みんな空腹を満たすのが最優先、誰も異を唱えませんでした。生命への危険性を熟知しての使用でしたが、生態系ひいては子孫への影響など構っておれなかった時代背景が原因だったと言えるかも。

全国では列島改造施策が着手されて以降多くの河川が工事された。工事後の川に住民の強い要望でホタル復活に多額の税と英知が投入されたが根付いた話は殆ど無く、須加院川もまた例外では無かったのかも。しかし須加院川は多くの谷を集めており、中でも田畑の少ない谷川の出口付近に絶滅の危機を免れ生き残ったホタルがいました。私達の活動を契機に、生き残ったホタルと先の川移動工事後に放流されたホタルの子孫などが飛出した場所が一部に復活したのです。たかがホタルと言うなかれ、飛出したホタルを放って置く手はありません。須加院川は三面がコンクリート化された他の河川と異なり昔風が色濃く残る川、その事実を嘆いた人が有るかも知れませんがそれが幸運でした。近郷近在には無い『ホタルが乱舞する里』を目指せる須加院川の強みではないでしょうか。万事塞翁が馬ということかも知れません。

ホタルの幼虫を放流しようというのは、この強みを確固としたものにし根付かせよう、乱舞する範囲を拡張しようということです。世代や地域を超え多くの方々に参加して頂き、共に力を合わせホタルの乱舞する郷土を再構築したいと願っています。人は条件反射の生き物、環境に素早く順応する能力に優れた生き物とか。子供達も、その子供達も、またその子供達もが住み暮りたいと選んでくれるような郷土を創り上げたい、須加院川の会はそう願い励み続けています。

世界遺産姫路城、幾星霜を重ね戦火を免れ生き延びた姫路城とホタルの復活は比較にならないかも知れません。人口50万人を越す姫路市、その玄関口からホンの10kmに「ホタルが乱舞する須加院川」があり、全国広しといってもこんな地域は他にまずない。いつの日か『ホタル祭』が開催できればと願っている。それを今、あなたが主役になって実現するのです。必ず末代迄もが誇りに思う地域となりましょう。天の時・地の利・人の和(輪・話)に恵まれる須加院川です。